

4 その他の施設

大-⑦② 大館市し尿処理場

- (1) 名称 **大館市し尿処理場** (TEL48-2984)
 (2) 所在地 大館市松木字高館平2-1ほか
 (3) 工期 昭57.11~59.9
 (4) 開設 昭60.4.1
 (5) 設計 荏原インフィルコ㈱
 (6) 施工者 荏原インフィルコ㈱
 (7) 面積 敷地 14,144.17㎡ 建物 4,186.054㎡
 (8) 処理方法 低希釈二段活性汚泥法
 (9) 処理能力 160kl/日 (うち浄化槽汚泥30kl/日)
 (10) 総事業費 2,611,365千円

建設費 (千円)		財源 (千円)	
本体工事費	2,348,585	国庫補助金	689,749
附帯工事費	86,906	地方債	1,628,500
用地・補償費	2,466	一般財源	293,116
測量委託費	7,431		
事務費	50,777		
用地造成工事その他	115,200		
計	2,611,365	計	2,611,365

(11) 施設の概要

- 〈受入貯留設備〉受入沈砂設備 (受入槽及び沈砂槽等)
 貯留設備 (生し尿270m³、浄化槽168m³等)
 沈砂除去設備 (沈砂セパレーター、バキュームポンプ等)
 前処理設備 (ドラムスクリーン、スクリュープレス等)
- 〈1次・2次処理設備〉曝気設備 (第1曝気槽・第2曝気槽各2槽、曝気ブロワー等)
 攪拌設備 (第1攪拌槽・第1攪拌槽各2槽、攪拌ブロワー等)
 汚泥沈殿設備 (沈殿槽、汚泥掻寄機、汚泥返送ポンプ等)
 硝化液循環設備 (循環液ポンプ等)
- 〈高度処理設備〉凝集沈殿設備 (薬剤注入設備、沈殿槽等)
 砂ろ過設備 (砂ろ過機2塔及び逆洗浄設備等)
 活性炭吸着設備 (吸着塔2塔及び逆洗浄設備等)
- 〈消毒設備〉次亜塩素酸ソーダ注入設備
- 〈汚泥処理設備〉汚泥脱水設備 (濃縮槽、脱水機、薬注設備等)
 汚泥乾燥設備 (平成19年12月使用廃止)
 し渣焼却設備 (平成19年12月使用廃止)
- 〈脱臭設備〉生物脱臭設備 (平成19年7月増設)
 酸・アルカリ洗浄設備 (薬注設備並びに薬洗設備等)
 活性炭吸着設備 (活性炭吸着塔及び誘因、ファン等)
- 〈給排水設備〉取水井設備 (取水井5カ所及び給水管等一式)
 排水設備 (放流配管及び場内配水管等一式)

〈電気・計装設備〉受配電設備（受電、変圧、配電設備等一式）

計装設備（流量計、濃度計及びグラフィックパネル等一式）

〈その他〉車庫、庭園等

(12) 管理運営 大館市（環境課）

(13) 処理状況（令和4年度末）

区 分	大館地域	比内地域	田代地域	合 計
人 口	53,529 人	8,594 人	5,427 人	67,550 人
計 画 処 理 人 口	27,298 人	3,958 人	2,085 人	33,341 人
人 口 比 率	50.99 %	46.05 %	38.41 %	49.35 %
世 帯 数	25,350 世帯	3,699 世帯	2,341 世帯	31,390 世帯
計 画 処 理 世 帯	12,635 世帯	1,634 世帯	894 世帯	15,163 世帯
世 帯 比 率	49.84 %	44.17 %	38.18 %	48.30 %
年 間 処 理 量	37,503 kℓ	4,482 kℓ	1,983 kℓ	43,968 kℓ
1 日 平 均 処 理 量	102.75 kℓ	12.28 kℓ	5.43 kℓ	120.46 kℓ
汲 取 り 許 可 業 者	(株)タイセイ 大館広域清掃(株)	(有)比内衛生社 大館広域清掃(株)	(株)秋北清掃センター	
業 者 作 業 車 台 数	15台	8台	2台	25台
施 設 使 用 料	900ℓ当たり110円（消費税込み）			

参 考（下水道利用 令和4年度末）

区 分	大館地域	比内地域	田代地域	合 計
下 水 道 利 用 人 口	26,231 人	4,636 人	3,342 人	34,209 人
下 水 道 利 用 世 帯	12,715 世帯	2,065 世帯	1,447 世帯	16,227 世帯

(14) 維持管理費

し尿処理費（令和5年度当初予算）	268,290千円
------------------	-----------

(15) 施設使用料（消費税込み）

（令和元年10月1日改定）

区 分	施設使用料
180ℓまで	22.0円
180ℓを超え18ℓ増すごと	2.2円

大⑦3

市民の森

急速な都市化現象とともに、公害、自然観境の破壊が広がりつつある中、自然を保護し、豊かな心と健全な身体をつくり、緑の中で人間性をとりもどすため、老若男女が四季を通じて広く利用できる施設として、市中心部より西南に約10kmの位置に設置された。昭和46年度から着手し、昭和48年10月6日にオープン。昭和49～52年度には広域市町村圏組合事業により野外運動施設等を設置し、さらに昭和55年度には新林構実験事業により花木園・樹木園など修景施設の施工を行うとともに、平成元年度にはまちづくり事業として大型のあずまや、公衆トイレ、遊歩道、釣場の諸施設を併設し、平成23年度には木材公共施設整備事業により管理棟を改築し、市民の憩いの場として整備されている。

- (1) 名称 **大館市市民の森**
- (2) 所在地 大館市比内前田字平馬下段78ほか
- (3) 交通 乗用車利用 市中心部から約20分
コミュニティバス利用 「さわやかみなみ号」比内前田停留所下車
- (4) 面積 総面積：70ha
建物面積：休憩所(107.66㎡)
- (5) 総事業費 131,850千円(昭和46年度～平成23年度)

建設費 (千円)		財源 (千円)	
遊歩道造成	7,416	国補助金	6,916
駐車場造成	2,865	県補助金	23,096
展示修景施設工事	9,233	地方債	35,400
休憩所新築	7,316	寄附金	2,200
森の家新築	1,500	一般財源	64,238
林間研修所新築	10,841		
野外運動施設工事	26,551		
休憩施設新築	4,880		
管理施設新築	1,914		
衛生施設工事ほか	4,153		
用地購入、補償費	30,856		
管理棟改築	24,325		
計	131,850	計	131,850

- (6) 管理費 (令和4年度)
6,644千円
- (7) 使用料 無料
- (8) 管理運営 大館市(林政課)
- (9) 施設の概要

- ・道路 幹線道路(幅員1～3m、延長3,420m)
遊歩道(幅員1m、延長7,710m)
- ・駐車場 6,400㎡(収容台数300台)
- ・休憩施設 東屋
- ・管理施設 管理棟、倉庫ほか

- ・水車小屋 水車、あずまや風建物
- ・広 場 4,000㎡、運動広場、集会広場、藤棚
- ・魚 釣 池 駐車場隣接地貯水池
- ・花 木 園 ライラック、花モモ、花アカシヤ、サクラ、花スオウ、サルスベリ、ネムノキほか
- ・梅 林 1,200本（主として豊後梅）
- ・樹 木 園 シラカバ林、カエデ、ナナカマド、イチョウ、ドイツトウヒ、エゾマツ、ダイオウショウ、リギダマツほか
- ・果樹見本園 グミ、クリ（70本）
- ・草原、ススキヶ原 広々とした草原とススキの群生地
- ・湿原植物 ミズバショウ、ノハナショウブ、ヒツジグサ、ジュンサイ、モウセンゴケほか
- ・鳥獣保護区、保健休養保安林（昭和48年指定）
- ・駐車場より頂上まで……3,100m
- ・駐車場と頂上との標高差……250m



大ー ⑦④、⑦⑤

農林業多目的研修集会施設

林業構造改善村落特別対策事業の一環として、農林業従事者の心身の健全な発達と技能研修、並びに文化の向上を図るため設置された施設である。

(1) 名 称	真中農林業多目的研修集会施設		粕田沢農林業多目的研修集会施設				
(2) 所 在 地	大館市出川字上野30		大館市粕田字中羽立156、157-1				
(3) 工 期	昭55.11.1～56.3.14		昭58.11.15～59.3.16				
(4) 開 設	昭56.4.1		昭59.4.1				
(5) 設 計	(有)佐藤士朗建築設計事務所		石田建築設計事務所				
(6) 施 工 者	建 築 工 事：(株)協和建設 電気設備工事：(有)狩野電気工業所		建築工事：三浦木材(株)、 (株)岩建工務店共同企業体 電気設備工事：(有)太田電業社 機械工事：堺谷施設工業(株)				
(7) 面 積	建築面積 761.57㎡ 床面積 714.37㎡		建築面積 458.73㎡ 床面積 435.06㎡				
(8) 建 物 構 造	鉄骨及び木造平家建		鉄骨及び木造平家建				
(9) 総 事 業 費	75,190千円		56,390千円				
	建設費 (千円)	財 源 (千円)	建設費 (千円)	財 源 (千円)			
	建築工事費 69,570 電気設備工事費 5,620	国庫補助金 28,451 地 方 債 28,100 一 般 財 源 18,639	建築工事費 50,570 電気設備工事費 3,740 備品購入費 2,080	国庫補助金 25,955 地 方 債 18,200 一 般 財 源 12,235			
(10) 施設の概要	多目的ホール 544㎡、ステージ、 ミーティングルーム 2室、器具庫 2、 ロッカー、ホール		多目的ホール 242.16㎡、器具庫 1、 農林業研修室49.6㎡、調理実習室24.8㎡、 ホール、ステージ 33.08㎡				
(11) 管理運営	大館市教育委員会 (中央公民館)		粕田沢多目的研修集会施設運営委員会				
(12) 利 用 者	農林業従事者その他の市民						
(13) 使用料金	無料 (ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり)						
	区 分	8～12時	12～17時	8～17時	17～22時	12～22時	8～22時
	ミーティングルーム 農林業研修室	330円	440円	660円	550円	990円	1,320円
	多目的ホール	6,600円	7,700円	13,200円	11,000円	19,800円	27,500円
	調理実習室	1,100円	1,100円	1,320円	1,100円	2,200円	3,300円
	燃 料 費	実費負担とする。					
(14) 利用状況 (令和4年度)	2,470人			474人			

大- ⑦⑥、⑦⑦、⑦⑧

(1) 名称	十二所地区 農村総合管理施設		雪沢地区農村活性化集会施設 (樹海の里ゆきさわ館)		四羽出地区農村交流施設 (四羽出地区 コミュニティセンター)		
(2) 所在地	大館市軽井沢字浦山39-2		大館市雪沢字雪沢33-2		大館市二井田字上四羽出20-1		
(3) 工期	平7.10.6~8.3.10		平8.3.26~8.8.30		平14.7.29~15.3.20		
(4) 開設	平8.7.1		平8.10.1		平15.4.1		
(5) 設計	(株)恒谷汲川建築設計事務所		(株)山本建築設計事務所		(有)アトリエ建築設計室		
(6) 施工者	建築工事:(有)工藤工務店		建築工事:協働建設 電気設備工事:昭和電気設備		建築工事:(株)片山建設 機械・電気設備工事:(株)タガヤ 外溝工事:佐藤吉(株)		
(7) 面積	建築面積 266㎡ 床面積 255㎡		建築面積 326㎡ 床面積 321㎡		建築面積 265㎡ 床面積 248㎡		
(8) 建物構造	鉄骨及び木造平家建		鉄骨及び木造平家建		木造平家建		
(9) 総事業費	32,909千円		53,642千円		56,267千円		
	建設費(千円)	財源(千円)	建設費(千円)	財源(千円)	建設費(千円)	財源(千円)	
	建築工事費 32,909	国庫補助金 16,454 一般財源 16,455	建築工事費 42,951 電気設備工事費 10,691	国庫補助金 29,503 地方債 16,000 一般財源 8,139	建築工事費 42,951 機械・電気設備工事費 6,300 外溝工事費 6,376 その他 640	国庫補助金 25,558 一般財源 30,709	
(10) 施設の概要	活性化ホール 113㎡、 調理実習室、 研修室(和室)、器具室		集会室(ホール) 141㎡、 調理実習室、 研修室(和室)、倉庫		集会室(ホール) 181㎡、 調理実習室、倉庫、 研修室(和室)(2)		
(11) 管理運営	浦山自治会		新沢町内会		四羽出地区コミュニティー センター管理組合		
(12) 利用者	農林業従事者その他の市民						
(13) 使用料金	無料(ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり)						
	区分	8~12時	12~17時	8~17時	17~22時	12~22時	8~22時
	研修室	330円	440円	660円	550円	990円	1,320円
	多目的ホール	6,600円	7,700円	13,200円	11,000円	19,800円	27,500円
	調理実習室	1,100円	1,100円	1,320円	1,100円	2,200円	3,300円
	燃料費	実費負担とする。					
(14) 利用状況 (令和4年度)	986人		1,814人		950人		

比-⑰

(1)名称	小泉交流センター				
(2)所在地	大館市比内町白沢水沢字水沢25番地2				
(3)工期	平成20年11月13日～平成21年3月23日				
(4)開設	平成21年4月1日				
(5)設計	田中建築設計事務所				
(6)施工者	扇建設株				
(7)面積	建築面積 187.56㎡ 床面積 142.84㎡				
(8)建物構造	木造平家建				
(9)総事業費	24,057千円				
	建設費(千円)		財源(千円)		
	建築工事費	22,347	国庫補助金	11,944	
	委託費	1,457	一般財源	12,113	
	その他	253			
(10)施設の概要	集会室(49.5帖)、小会議室(7.5帖)、調理室(9.5帖)、トイレ				
(11)管理運営	小泉まちづくり協議会に委託				
(12)利用者	農林業従事者その他の市民				
(13)使用料金	無料(ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり)				
	区分	8～12時	12～17時	17～22時	8～22時
	集会室	2,200円	2,200円	2,750円	5,500円
	会議室	1,100円	1,100円	1,320円	2,750円
	調理室	1,650円	1,650円	1,980円	3,850円
	燃料費	実費負担とする			
(14)利用状況 (令和4年度)	275人				

比-⑱

(1)名称	大館市農村婦人の家					
(2)所在地	大館市比内町独鈷字川久保33-1					
(3)工期	昭57. 8. 20～昭57. 11. 20					
(4)開設	昭57. 12. 10					
(5)設計	株恒谷汲川建築設計事務所					
(6)施工者	建築工事：(株)成田工務店 電気設備工事：(有)菅良電設工業 衛生工事：(有)明祝商事					
(7)面積	建築面積：512.643㎡ 床面積：471.221㎡					
(8)建物構造	鉄骨及び木造平家					
(9)総事業費	47,563千円					
	建設費(千円)		財源(千円)			
	建築工事費	35,320	国庫補助金	13,619		
	電気・衛生設備工事費	7,042	地方債	28,700		
	備品費等	5,201	一般財源	5,244		
(10)施設の概要	農産加工室46.374㎡、調理実習室46.374㎡、研修室29.812㎡、 学習室39.749㎡、多目的実習展示室234.00㎡、ホール、事務室					
(11)管理運営	大館市比内総合支所 地域振興係					
(12)利用者	農村婦人及び高齢者・その他の市民					
(13)使用料金	無料(ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり) (単位：円)					
	区分	9:00 ～ 13:00	13:00 ～ 17:00	17:00 ～ 22:00	全日	摘要
	研修室 学習室	1,100	1,100	1,650	3,850	1室使用は半額
	調理実習室	1,650	1,650	1,980	5,280	
	子供高齢者室	110	110	160	370	
	多目的実習展示室	1,100	1,100	1,650	3,850	
	農産 加工 室	みそ 加工	大豆15キログラム当たり1,320円			15キログラム未満は1,320円とする
		こうじ 加工	米15キログラム当たり330円			15キログラム未満は330円とする
		缶詰 加工	30個まで610円とし、30個を超える場合は610円 に30個を超える1個につき20円を加算した額			
		その他 加工	1,100	1,100	1,650	3,850
	備考 1 暖房を使用した場合における使用料の額は、上記に定める使用料の額に100分の120を乗じて得た額とする。 2 使用時間を超えて使用する場合においては、1時間当たり110円(冬期間は160円)。を使用料の額に加算する。この場合において、30分未満の時間は切り捨てることとし、30分を超え1時間に満たない場合は1時間とみなすものとする。					
(14)利用状況 (令和4年度)	1,107人					

比一⑱

(1)名称	大館市高齢者生産活動施設				
(2)所在地	大館市比内町中野字下柵内102-2				
(3)工期	昭60. 9. 21～昭61. 1. 20				
(4)開設	昭61. 1. 31				
(5)設計	昭建築設計事務所				
(6)施工者	建築工事：(有)成田工務店 電気設備工事：菅秀電気工事 温泉引込工事：扇建設株		給排水工事：(有)明祝商事 温室工事：(株)明祝建設 附帯工事：(有)菅金組		
(7)面積	建築面積：424.410㎡ 床面積：394.388㎡				
(8)建物構造	木造平家建				
(9)総事業費	52,474千円				
	建設費(千円)		財源(千円)		
	建築工事費	31,700	国庫補助金	26,237	
	給排水工事費	5,888	地方債	25,800	
	電気設備工事費	2,972	一般財源	437	
	温室工事費	2,725			
	温泉引込工事費	4,574			
	附帯工事費	2,020			
	備品費	735			
	設計委託料	1,860			
(10)施設の概要	研修室92.747㎡、わらつる工芸室34.780㎡、薬草調整室29.811㎡、 談話コーナー20.703㎡、男女浴室31.054㎡、事務室14.906㎡、ホール、収納庫				
(11)管理運営	大館市比内総合支所 地域振興係				
(12)利用者	農村高齢者・その他の市民				
(13)使用料金	基本的に下表のとおり。ただし、高齢者の使用及び高齢者生産活動のための使用は無料。 (入浴料は減免しない。) (単位：円)				
	区分	9:00～13:00	13:00～17:00	17:00～22:00	全日
	第1研修室	1,100	1,320	1,320	2,640
	第2研修室	1,100	1,320	1,320	2,640
	第1・第2研修室通し	1,650	1,980	1,980	3,960
	わらつる工芸室	1,100	1,650	1,650	3,300
	薬草調整室	1,100	1,650	1,650	3,300
	入浴	1人1回 150円 回数券(22枚綴) 3,000円			
	備考	1 暖房を使用した場合における使用料の額は、上記に定める使用料の額に100分の120を乗じて得た額とする。 2 使用時間を超えて使用する場合においては、1時間当たり110円(冬期間は160円)を、使用料の額に加算する。この場合において、30分未満の時間は切り捨てることとし、30分を超え1時間に満たない場合は1時間とみなすものとする。			
(14)利用状況 (令和4年度)	7,236人				

比-20

(1)名称	大館市高齢者・若者センター				
(2)所在地	大館市比内町大葛字大葛家後74-3				
(3)工期	平3. 9. 13~平3. 11. 30				
(4)開設	平4. 1. 9				
(5)設計	昭建築設計室				
(6)施工者	建築工事：(有)成田工務店 (電気設備、給排水、衛生工事込み) 外構工事：(有)羽賀興業				
(7)面積	建築面積：343.246㎡ 床面積：299.481㎡				
(8)建物構造	木造平屋建				
(9)総事業費	38,105千円				
	建設費 (千円)		財源 (千円)		
	建築工事費	31,901	国庫補助金	19,052	
	備品費等	5,685	地方債	16,800	
	外壁工事費	519	一般財源	2,253	
(10)施設の概要	第1研修室122.850㎡、第2研修室16.562㎡、第3研修室16.562㎡、 談話室26.085㎡、調理実習室24.843㎡、ロビー、ホール				
(11)管理運営	大館市比内総合支所 地域振興係				
(12)利用者	農村高齢者及び若者・その他の市民				
(13)使用料金	無料 (ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり) (単位：円)				
	区 分	9:00~13:00	13:00~17:00	17:00~22:00	全 日
	第1研修室	2,200	2,200	2,750	5,500
	第2研修室	1,100	1,100	1,320	2,750
	第3研修室	1,100	1,100	1,320	2,750
	第2・第3研修室通し	1,650	1,650	1,980	3,850
	調理実習室	1,650	1,650	1,980	3,850
	談話室	1,100	1,100	1,320	2,750
	備考 1 暖房を使用した場合における使用料の額は、上記に定める使用料の額に100分の120を乗じて得た額とする。 2 使用時間を超えて使用する場合においては、1時間当たり110円 (冬期間は160円)。を使用料の額に加算する。この場合において、30分未満の時間は切り捨てることとし、30分を超え1時間に満たない場合は1時間とみなすものとする。				
(14)利用状況 (令和4年度)	1,665人				

比-②①

(1) 名 称	大館市構造改善センター				
(2) 所 在 地	大館市比内町達子字曲谷地62番地7				
(3) 工 期	平4. 8. 24～4. 12. 14				
(4) 開 設	平5. 1. 19				
(5) 設 計	昭建築設計室				
(6) 施 工 者	建物本体工事：(株)イトウ		用地造成：(有)菅原組		
	機械設備工事：(株)田中工業所		表土入れ替え：(有)菅原組		
	電気設備工事：米代電気工業(株)		駐車場造成：(有)三浦建設		
	外構工事：(有)菅原組				
(7) 面 積	建築面積 524.778㎡ 床面積 490.631㎡				
(8) 建 物 構 造	木造平家建				
(9) 総 事 業 費	81,103千円				
	建設費(千円)		財 源(千円)		
	建物本体工事費	54,497	国庫補助金	35,333	
	機械設備工事費	7,158	地 方 債	45,000	
	電気設備工事費	4,614	一 般 財 源	770	
	その他工事費	14,834			
(10) 施設の概要	多目的ホール 154.700㎡、研修室 45.546㎡、調理実習室 39.749㎡、 談話室 51.135㎡、ホール、談話コーナー				
(11) 管 理 運 営	大館市比内総合支所 地域振興係				
(12) 利 用 者	農林業従事者・その他の市民				
(13) 使用料金	無料(ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり) (単位：円)				
	区 分	9:00～13:00	13:00～17:00	17:00～22:00	全 日
	多目的ホール	2,200	2,200	2,750	5,500
	第1研修室	1,100	1,100	1,320	2,750
	第2研修室	1,100	1,100	1,320	2,750
	第1・第2研修室通し	1,650	1,650	1,980	3,850
	調理実習室	1,650	1,650	1,980	3,850
	談 話 室	無料			
	備考				
	1 暖房を使用した場合における使用料の額は、上記に定める使用料の額に100分の120を乗じて得た額とする。				
	2 使用時間を超過して使用する場合においては、1時間当たり110円(冬期間は160円)を使用料の額に加算する。この場合において、30分未満の時間は切り捨てることとし、30分を超え1時間に満たない場合は1時間とみなすものとする。				
(14) 利用状況 (令和4年度)	2,243人				

大一 ㊦

公設総合地方卸売市場

大館市経済圏（県北2市2郡供給対象人口）の日常生活の安定と向上を図るため、秋田県卸売市場整備計画に基づき、流通機構の中核としての「公設総合地方卸売市場」を計画、約3億8,000万円で昭和45年10月着工、翌46年8月に完成した。事業開始は昭和46年8月27日だが、公設卸売市場としての流通圏は県北一帯はもちろん岩手・青森両県にまで及んでおり、生産者の利益を守り、消費者への安定供給を行う市場の役目は大きく、公正な取引とともに消費生活と物価の安定に寄与している。

- (1) 名称 **大館市公設総合地方卸売市場** (TEL48-6760)
- (2) 所在地 大館市釈迦内字街道上1ほか
- (3) 工期 昭45.10.15~46.8.20
- (4) 開設 昭46.8.27
- (5) 設計 (株)公共建築設計事務所
- (6) 施工者 (株)伊藤組
- (7) 面積 敷地 24,897.8㎡ 建物 4,500㎡
- (8) 建物構造 卸売場…鉄骨造、屋根長尺カラー鉄板瓦棒葺、
外壁大波スレート葺一部二階建、
床コンクリート叩き一部大理石貼り
冷蔵庫…鉄筋コンクリート造、屋根アスファルト防水内部放熱加工
管理事務所…コンクリートブロック造平屋建
- (9) 総事業費 378,406千円

建設費 (千円)			財源 (千円)		
卸売場建物	93,863	電気通信設備	14,000	県補助金	80,000
仲買人売場建物	12,091	管理事務所	3,997	地方債	277,800
倉庫	3,910	構内整備舗装	57,347	一般財源	20,606
買荷保管所	4,411	用地費	62,611		
冷蔵庫建物	14,241	暖房設備	369		
冷蔵庫機械	19,340	業者事務室	8,160		
衛生設備	1,190	廊下	2,452		
給排水設備	51,494	事務費その他	28,930		
計	378,406			計	378,406

- (10) 施設の概要 卸売場 3,352.5㎡、冷蔵庫 442.7㎡、パッケージセンター 308㎡、仲買売場 434.8㎡、業者事務所(2階) 466.4㎡、倉庫 127.5㎡、買荷保管所 882㎡、駐車場 約20,000㎡

- (11) 取扱高 (令和4年度)

区分	取扱高		平均取扱高 (1カ月当たり)		備考
	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(t)	
青果物	973,470	2,656	81,123	221	金額は、消費税及び地方消費税を含む。
水産物	1,912,444	2,474	159,370	206	
計	2,885,914	5,130	240,493	427	

(12) 市場使用料

区 分		使 用 料	令和4年度使用料
卸売業者市場使用料		売上金額の1000分の0.75	2,164千円
卸売業者売場使用料	青 果	1 m ² につき月額 27円	施設使用料 2,719千円
	水 産	〃 40.5	
仲卸業者売場使用料		〃 135	
倉 庫 使 用 料		〃 27	
業 者 事 務 室 使 用 料		〃 81	
冷 蔵 庫 使 用 料		〃 135	
パッケージセンター使用料		〃 62	

(13) 管理運営

大館市（農政課）

(14) そ の 他

卸売市場特別会計予算(令和5年度当初)

歳入 売上使用料 2,089千円

施設使用料 2,718千円



大ー ⑧ 農林水産物直売施設「ゆきさわ産直センター」

山村振興等農林漁業特別対策事業の一環として、山村振興地域の生産性向上及び販売促進を図り、生産者の所得の増大に資するため設置された直売施設。

- (1) 名称 **大館市農林水産物直売施設** (TEL50-2032)
- (2) 所在地 大館市雪沢字檜ノ木岱地内
- (3) 工期 平9. 9. 5～9. 12. 19
- (4) 開設 平10. 4. 1
- (5) 設計 (有)アイ設計
- (6) 施工者 殿村工務店
- (7) 面積 直売施設：建築面積 205. 36㎡ 延床面積 166. 14㎡
受水槽室：建築面積 9. 93㎡ 延床面積 9. 93㎡
- (8) 建物構造 木造平家建
- (9) 総事業費 39, 459, 000円

建設費 (円)		財源 (円)	
建築工事費	39, 175, 500	国庫補助金	19, 729, 000
備品購入費	283, 500	一般財源	19, 730, 000
計	39, 459, 000	計	39, 459, 000

- (10) 施設の概要 直売スペース 95㎡、休憩室 13㎡、収納庫 16㎡、トイレ、テント 2張
- (11) 管理運営 指定管理者：ゆきさわ産直にここ友の会
- (12) 利用者 農林水産業従事者、その他市民
- (13) 使用料金 無料



大ー 81

コンポストセンター

生ごみと畜産廃棄物を原料にして良質な堆肥を生産し、これを土壤に還元することにより農薬や化学肥料の投入を極力抑えた農業生産を目指し、安全で新鮮な農産物を市民に供給する循環システムを消費者・生産者の連携の下に確立させるために建設された堆肥生産施設。

- (1) 名 称 **大館市コンポストセンター** (TEL49-3935)
- (2) 所 在 地 大館市大披字向台10番地
- (3) 工 期 平12. 7. 4～13. 3. 16
- (4) 開 設 平13. 4
- (5) 設 計 設計総括：(株)大建設計
建 物：秋田県建築設計事業協同組合
プラント：(株)荏原製作所
- (6) 施 工 者 外 構 工 事：(有)佐久組
機械設備工事：古家燃料(株)
処理棟建築工事：花岡土建(株)
電気設備工事：(株)大東電設
脱臭棟、管理棟：沓澤建設(株)
プラント工事：(株)荏原製作所東北支店
- (7) 面 積 敷地面積：9,600㎡
施設面積：管理棟積36.48㎡、処理棟1,841.83㎡、脱臭棟330.00㎡、倉庫81.15㎡
- (8) 建物構造 処理棟・・・鉄骨造、屋根折版、外壁波形ストレート横張
管理棟・・・木造、屋根長尺カラー鉄板、腰壁杉板、壁不燃外装材
脱臭棟・・・鉄骨造、屋根FRP板、外壁鉄骨材表わし
- (9) 総事業費 460,000千円

建設費 (千円)		財 源 (千円)	
プラント工事	240,000	国庫補助金	220,339
建設工事	190,000	地方債	162,100
外構工事	20,000	一般財源	77,561
施設機械	10,000		
計	460,000	計	460,000

- (10) 施設の概要 処理方式：高速堆肥方式
処理能力：16 t/日、4,000 t/年
原 材 料：事業系生ごみ600 t/年、鶏糞3,100 t/年、もみ殻300 t/年
生産能力：10 t/日、1,100 t/年
 - (11) 管理運営 大館市（農政課）
 - (12) 製品販売 堆肥「土っ恋しょ」
 - ・粉堆肥 ばら製品：4,600円/t (税抜)、5,700円/t (配達込み) (税抜)
ばら製品：1,610円/350kg (税抜)、袋詰製品：172円/15kg (税抜)
 - ・ペレット堆肥
ばら製品：3,100円/500kg (フレコン込み) (税抜)：バラ散布事業のみ
袋詰製品：187円/15kg (税抜)
- 主な販売先：あきた北農業協同組合（経済部） TEL0186-45-1400
ホームセンタージャンボグリーン TEL0186-49-2828

比一②

比内地鶏鶏糞処理施設

比内地鶏鶏糞等を一元的に堆肥化処理し、生産された良質堆肥の原料が全国ブランドの比内地鶏の鶏糞であることを前面に押し出す形でブランド化することで普及させ、本市の資源循環型農業の更なる発展を目指すために建設された堆肥生産施設。

- (1) 名称 **大館市比内地鶏鶏糞処理施設** (TEL55-1004)
愛称：ヒナイドリームセンター
- (2) 所在地 大館市比内町八木橋字鎌谷地沢26番地29
- (3) 工期 平23. 7. 1～25. 9. 13
- (4) 開設 平25. 4. 1
- (5) 設計 実施設計：(株)恒谷汲川建築設計事務所
- (6) 施工者 処理棟・管理棟建築工事：平和建設(株)
造成工事：扇建設(株)
電気設備工事：(株)ユアテック大館営業所
発酵処理装置設置工事：中部エコテック(株)
堆肥後処理装置設置工事：東光鉄工(株)
ペレット製造装置：(株)アースエンジニアリング
- (7) 面積 敷地面積：7,039㎡
施設面積：処理棟1230.66㎡、管理棟33.12㎡
- (8) 建物構造 処理棟……木造平屋建
管理棟……木造平屋建
- (9) 総事業費 251,616千円

建設費 (千円)		財源 (千円)	
建築工事費	106,586	国庫補助金	97,059
造成工事費	13,044	地方債	134,600
電気設備工事費	16,695	一般財源	19,957
機械設備費	76,356		
車両等購入費	17,201		
実施設計費	2,674		
用地測量費	1,732		
外構工事費	9,994		
その他経費	7,334		
計	251,616	計	251,616

- (10) 施設の概要 処理方式：高速堆肥方式
処理能力：5.2 t/日、1,163 t/年
原材料：鶏糞及びもみ殻1,467 t/年
生産能力：3.6 t/日、1,093 t/年
- (11) 管理運営 大館市（農政課）
- (12) 製品販売 堆肥「ヒナイドリーム」
・ペレット堆肥
ばら製品：1,750円/350kg(税抜)、2,500円/500kg(税抜)
フルコン製品：3,100円/500kg(税抜)、3,650円/500kg(配達込み)(税抜)
袋詰製品：187円/15kg(税抜)
主な販売先：あきた北農業協同組合（経済部） TEL0186-45-1400
ホームセンタージャンボグリーン TEL0186-49-2828

田一⑩

大館市営牧場「雨池牧場」

団体営草地改良事業の一環として畜産振興の基盤の確立を図り、農業経営の安定に資するため設置された施設。

- (1) 名称 **大館雨池牧場**
- (2) 所在地 大館市岩瀬字大川目元渡337ほか
- (3) 開設 昭46. 4. 1
- (4) 面積 敷地 487,192㎡
- (5) 改良工事
 - ① 事業名 北鹿地域畜産基地建設事業（昭和61年度～平成2年度）
 - ② 施工者 農用地技研株
 - ③ 総事業費 71,167千円

建設費 (千円)		財源 (千円)	
基本施設整備費	47,272	国庫補助金	42,701
農業用施設整備費	19,514	県補助金	14,233
農機具等購入費	4,381	一般財源	14,233
計	71,167	計	71,167

- (6) 施設の概要 看視舎1棟 22.8㎡、農具舎1棟 29.0㎡、給水所 5カ所、トラクター1台 ほか
- (7) 管理運営 指定管理者：あきた北農業協同組合
- (8) 利用者 畜産従事者
- (9) 使用料金 子牛55円、成牛 231円 (1日1頭当たり放牧料)
- (10) 利用状況 1日平均頭数 29頭 (子牛 8頭、成牛 21頭)
(令和4年度実績) 放牧延べ頭数 5,143頭 (子牛 1,373頭、成牛 3,770頭)



大ー ⑧

大館労働福祉会館「アポックセンター」

- (1) 名称 **大館労働福祉会館** (TEL42-6539 FAX43-1302)
- (2) 所在地 大館市豊町2-37
- (3) 工期 平2. 6. 22～2. 12. 10
- (4) 開設 平3. 1. 1
- (5) 設計 (株)恒谷汲川建築設計事務所
- (6) 施工者 建物工事：(株)大成工務店
機械設備工事：同和工営(株)
電気設備工事：羽後電設工業(株)
- (7) 面積 敷地 747.00㎡ 建築 514.73㎡ 延床 971.90㎡
- (8) 建物構造 鉄骨造二階建
- (9) 総事業費 204,238千円

建設費 (千円)		財源 (千円)	
建築工事費	161,040	県補助金	30,000
機械設備工事費	23,628	労働団体負担金	20,000
電気設備工事費	19,570	一般財源	154,238
計	204,238	計	204,238

- (10) 施設の概要 1階…事務室 47.61㎡、管理人室 37.85㎡、中会議室 69.96㎡、
第1会議室 34.65㎡、第2会議室 24.84㎡、
研修室(和室) 26.77㎡、印刷室ほか 217.30㎡
2階…大会議室 289.84㎡、和室 63.88㎡、湯沸室 19.38㎡、
トイレほか 139.82㎡

- (11) 管理運営 指定管理者：大館労働福祉会館運営協議会

- (12) 利用料金

区分	利用料金の上限額
大会議室	1室につき1時間当たり1,650円 (商品の宣伝、展示即売等営利又は営業を目的として使用する場合は、3,300円)
和室	1室につき1時間当たり1,100円 (商品の宣伝、展示即売等営利又は営業を目的として使用する場合は、2,200円)

- 備考
- 1 使用時間が1時間に満たない部分は、これを1時間とみなす。
 - 2 暖房料、燃料、持込みする電気器具に係る電気料等は、実費負担とする。

- (13) 利用状況
(令和4年度)

区分	大会議室		和室		計	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人数
労働団体	23件	1,040人	3件	50人	26件	1,090人
一般	45	6,290	34	5,840	79	12,130
営利	0	0	0	0	0	0
その他	7	360	0	0	7	360
計	75	7,690	37	5,890	112	13,580

大- 83

技能センター

職業訓練法による認定団体及び中小企業の事業主等が行う技術労働者の養成並びに技能訓練に利用されている。

- (1) 名称 **大館総合技能センター** (TEL43-2610)
- (2) 所在地 大館市有浦三丁目6-22
- (3) 工期 昭42. 2. 22~42. 3. 31 昭54. 7. 7~55. 9. 29 (増築)
- (4) 開設 昭42. 4. 1
- (5) 設計 (既設分) 恒谷一級建築士設計事務所
(増築分) ㈱恒谷汲川建築設計事務所
- (6) 施工者 (既設分) ㈱伊藤組
(増築分) ㈱岩建工務店
- (7) 面積 敷地 462.80㎡ 建物 延622㎡ (1階 202㎡、2階 222㎡、3階 198㎡)
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート3階建
- (9) 総事業費 37,923千円 (既設分 8,098千円、増築分 29,825千円)

(財源内訳)

区 分	既 設 分 (千円)	増 築 分 (千円)
国 庫 補 助 金	2,000	9,000
県 補 助 金	2,000	9,000
寄 附 金	2,600	—
一 般 財 源	1,498	11,825
小 計	8,098	29,825
合 計	37,923	

- (10) 施設の概要 管理室その他 180.57㎡、教室 132.42㎡、実習場 309.01㎡
- (11) 管理運営 指定管理者：職業訓練法人 大館北鹿職業訓練協会
- (12) 利用状況 (令和4年度)
 - ・在籍人員及び訓練入校生

区 分	1 年 生	2 年 生	計
木造建築科	3 人	2 人	5 人

- ・成人訓練 (技能向上訓練=受講者数) 101人
- ・その他 (研修会等) 56人

- (13) 利用料金 認定団体が行う職業訓練は無料だが、その他の使用については次の使用料による。

区 分	利用料金の上限
小 教 室 (1室につき)	1 時間当たり110円
大 教 室 (1室につき)	1 時間当たり170円

※暖房料、燃料費等は実費負担とする。

大- 84

シルバー人材センター（シルバーワークプラザ）

シルバー人材センター会員の働く拠点施設として設置。

- | | |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 名称 | 大館市シルバー人材センター（TEL49-4088） |
| (2) 所在地 | 大館市字扇田道下6-10 |
| (3) 工期 | 平3.12.11～4.3.25 |
| (4) 開設 | 平5.4.1 |
| (5) 設計 | 大館市（都市計画課） |
| (6) 施工者 | 協働建設 |
| (7) 面積 | 敷地 1,007.35㎡ 建物 154.30㎡ 延床 281.55㎡ |
| (8) 建物構造 | 木造二階建 |
| (9) 事業費 | 24,772千円（国庫補助金 10,000千円、市費 14,772千円） |
| (10) 施設の概要 | 1階…作業室 66.25㎡、講習室 46.37㎡、展示室 11.59㎡、廊下等 24.84㎡
2階…会議室 49.69㎡、研修室 57.97㎡、廊下等 24.84㎡ |
| (11) 管理運営 | 公益社団法人 大館市シルバー人材センター |

大ー ⑧

大館矢立ハイツ

平成12年度に宿泊棟・本館棟の改修によりリニューアルオープンした大館矢立ハイツは、温泉と山並みと清流に囲まれた自然の中、勤労者と市民の保養の場として利用されている。

平成19年には、新たな温泉井を掘削、源泉掛け流しの温泉は湯量も豊富で「たいへん温まる」と好評を得ている。

- (1) 名称 **大館矢立ハイツ** (TEL51-2311 FAX51-2314)
- (2) 所在地 大館市長走字陣場311
- (3) 再開設 平7. 6. 1
- (4) 面積 敷地 63,186.18㎡
建築 3,417.91㎡ (本館棟・宿泊棟及び浴場棟 2,982.41㎡、渡り廊下・機械室棟 435.50㎡)
- (5) 構造 RC造4階建
- (6) 施設の概要 客室 12(定員52名)、レストラン (90名収容)、大広間 80畳、カラオケルーム 3室、男女浴場、露天風呂、売店
- (7) 管理運営 指定管理者：株式会社やたて
- (8) 利用料金

区分	単位	利用料金の上限額	適用	
宿泊料金	1人1泊 (食事料を除く。)	6,620円		
入湯料金	1人1回	550円		
会議室利用料金	1時間	1,120円		
カラオケルーム 利用料金	1室 1時間	7人用	午前10時から 午後6時まで は、2分の1 の額とする。	
		15人用		2,250円
		20人用		4,490円
		5,500円		

備考

- 上記料金には、サービス料を含まないものとする。
- 使用開始前に自己の都合により使用を取りやめたときは、2分の1以内の額とする。

大ー ⑧

道の駅「やたて峠」

平成7年度に、駐車場およびトイレ休憩施設を整備した矢立峠駐車場は、国道7号線の秋田県と青森県の県境に位置し、自動車交通の要所であることから、大館矢立ハイツを含めた泊まれる道の駅として市民および道路通行車の憩いの場として知られている。

- (1) 名称 **道の駅「やたて峠」**
- (2) 所在地 大館市長走字陣場420
- (3) 開設 平8. 2. 29
- (4) 面積 敷地 67,000㎡ 建築 109.70㎡ (トイレ休憩施設)

大ー ⑧

二井田市民集会所（ハチ公荘）

- (1) 名 称 **大館市二井田市民集会所** (TEL49-0439)
- (2) 所 在 地 大館市二井田字田子森1番地1
- (3) 工 期 昭62. 9. 8～63. 3. 15
- (4) 開 設 昭63. 7
- (5) 設 計 石田建築設計事務所
- (6) 施 工 者 建 物 工 事：才信・片山建設共同企業体
電気設備工事：(有)藤電機工業
衛生設備工事：同和工営(株)大館支店
暖房設備工事：(株)田中工業所
- (7) 面 積 敷地 34,609.32㎡ 建物 559.48㎡
- (8) 建 物 構 造 木造平家一部鉄筋コンクリート造
- (9) 総 事 業 費 116,116千円 (62年度 110,616千円、63年度 5,500千円)
(国庫補助金 26,000千円[工配法補助]、起債 76,600千円、
一般財源 13,516千円)
- (10) 施設の概要 会議室 69.56㎡、浴室2室115.67㎡、研修室3室59.61㎡、
調理室・倉庫・その他 294.77㎡、事務室 19.87㎡
- (11) 管理運営 指定管理者：(株)友愛ビルサービス
- (12) 収容人員 会議室 60名、研修室 10名×3室
- (13) 利用状況 40,474人 (令和4年度)
- (14) 使用料金

区 分			利用料金の上限額
使 用 料	会議室 (大広間)	大人 (高校生以上)	220円
		小学生及び中学生	120円
	研修室 (個室)	大人 (高校生以上)	320円
		小学生及び中学生	170円
	暖 房 料	実費負担額とする。	
入 浴 料	大 人	320円 (回数券11枚綴り3,150円)	
	子 供	170円	

備 考

- 1. 子供の範囲は小学生とする。

大ー ⑧7

とむとむの里
湯 夢 湯 夢 の 里

- (1) 名 称 **湯夢湯夢の湯** (TEL52-2502)
- (2) 所 在 地 大館市十二所字後田34
- (3) 工 期 平2. 3. 17～6. 3. 15
- (4) 開 設 平2. 10. 6
- (5) 設 計 (有)佐藤総合企画
- (6) 施 工 者 建物工事・外溝工事：(株)イトウ
電気設備工事：同和工営(株)、(株)ユアテック
機械設備工事：大館桂工業(株)
空調設備工事：大館桂工業(株)、(株)巽工業所
給排水衛生設備工事：大館桂工業(株)
- (7) 面 積 敷地 19,134.44㎡ 建物 458.44㎡
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート造
- (9) 総事業費 1,207,649千円 ※温水プール(平24. 3. 31閉館)含む
(地方債 890,400千円、基金 20,000千円、一般財源 297,249千円)
- (10) 施設の概要 公衆浴場 226.76㎡ (建築面積)
露天風呂 41.92㎡ (建築面積)
倉庫・休憩室・渡り廊下 157.01㎡ (建築面積)
観覧席 83.05㎡
公衆トイレ 32.75㎡
イベント広場 30m (円直径)
滝 高さ5m×幅10m
カリヨン(1基) 高さ15m
- (11) 管理運営 指定管理者：(株)友愛ビルサービス
- (12) 利用状況 32,876人 (令和4年度)
- (13) 開館時間 4月～10月 午前6時～午後10時
11月～3月 午前6時～午後9時
- (14) 休館日 毎月第1、第3月曜日(祝日、振替休日に当たるときは翌日)
- (15) 料 金 (利用料金の上限額)

区 分	公衆浴場	回数券 (11枚綴)	休 憩 室
大 人 (中学生以上)	320円	3,150円	220円 (高校生以上)
子 供 (小学生)	170円	販売なし	120円 (中学生含む)

比一⑳

大館市ベニヤマ自然パーク「比内ベニヤマ荘」

新林業構造改善促進対策実験事業、労働環境施設整備事業により、緑豊かな自然環境を利用し休養と健康増進及び研修に寄与するために宿泊施設、屋内温泉プール、リハビリテーションの複合施設として設置。

(1)名称	比内ベニヤマ荘 (TEL57-2324)	
(2)所在地	大館市比内町大葛字金山沢口5	
(3)工期	管理休養施設	トレーニング施設
	昭55. 7. 18~56. 6. 30 昭62. 9. 25~63. 1. 19 (増築)	昭54. 11. 8~56. 7. 30 昭57. 7. 1~57. 8. 29 (増築)
(4)開設	昭56. 6. 5	
(5)設計	(株)山本建築設計事務所	
(6)施工者	建物本体工事：平和建設(株) 整地工事：(有)菅原組 水道工事：(有)羽沢組 給排水暖房工事：(株)大進工機	揚湯工事：大手興産(株) 電気設備工事：(有)菅良電設 給排水工事：(有)明祝商事
(7)面積	建築面積 1,187.405㎡	建築面積 1,019.880㎡
(8)建物構造	鉄筋コンクリート造二階建	鉄骨造一部木造平家建
(9)総事業費	381,458千円	
	建設費 (千円)	財源 (千円)
	建築工事費等 301,829	国庫補助金 112,528
	管理休養施設増築工事費 49,635 トレーニング施設増築工事費 29,994	地方債 88,500 一般財源 180,430
(10)施設の概要	研修室 (和室 40人収容)：8畳3室・10畳4室・12畳1室、 大研修室 (大広間)：90畳・ステージ付 (40畳と50畳に間仕切り可)、 食堂：30人収容、談話コーナー、洗面所、トイレ、リハビリ室 (休憩室)、 浴室：男女各1、屋内プール：25m・7コース、幼児用プール	
(11)管理運営	休止中	
(12)使用状況	休業中	

比一② 大館市ベニヤマ自然パーク「コテージ・公園」

山村振興等農林漁業特別対策事業の一環として、都市農村交流の促進による交流により、山村振興地域農畜産物の販路拡大、生産者の所得の増大並びに就業所得機会創出に資するために設置。

- (1) 名称 **自然資源等活用型簡易宿泊施設（コテージ）・自然資源等活用型公園**
(TEL57-2324)
- (2) 所在地 大館市比内町大葛字ホッパ沢8、金山沢口1
- (3) 工期 平11. 8. 5～12. 1. 10
- (4) 開設 平12. 1. 19
- (5) 設計 (株)ウヌマ地域総研
- (6) 施工者 建物本体工事（コテージ3棟、便所1棟）：平和建設(株)
建物本体工事（コテージ3棟）：(株)ヤナギヤ
機械設備工事：扇建設(株) 電気設備工事：米代電気工業(株)
公園設備工事（広場・管理道路・炊事棟1棟）：(株)武田組
設計業務委託：(株)ウヌマ地域総研
工事監督業務委託：(株)ウヌマ地域総研
設計積算電算処理業務委託：秋田県土地改良事業団体連合会
- (7) 面積 コテージ6棟 271.44㎡ 広場：15,000㎡
- (8) 建物構造 木造平家建
- (9) 事業費 253,135千円

建設費（千円）		財源（千円）	
建物本体工事費	63,788	国庫補助金	109,787
機械設備工事費	29,400	地方債	137,000
電気設備工事費	16,855	一般財源	6,348
公園設備工事費	121,351		
その他工事費	21,741		

- (10) 施設の概要 コテージ6棟：271.44㎡（1棟45.24㎡）、広場15,000㎡、
便所棟：19.36㎡、炊事棟51.84㎡、遊具
- (11) 管理運営 委託事業者：大館市ベニヤマ自然パーク管理会
- (12) 使用料金 1 自然資源等活用型簡易宿泊施設（コテージ）使用料金

区分	時間	金額
休憩料	午前11時～午後3時	4,950円
宿泊料	午後4時～翌日午前10時	12,100円

- ・規定時間を超えた使用を認められたときの当該超えた時間の利用料金は、当該超えた使用時間（1時間未満であるときは、1時間として計算するものとする。）に、1時間当たり1,100円を乗じて得た額とする。
- ・2泊以上継続して使用する場合の滞在期間中の休憩料は、徴収しない。

2 公園使用料金

区分	時間	金額
キャンプサイト	午後4時～翌日午前11時	1,200円

- (13) 使用状況 (令和4年度)
・利用人数：688人（コテージ686人 公園2人）

比一② 大館市ベニヤマ自然パーク「大葛金山ふるさと館」

山村振興等農林漁業特別対策事業の一環として、大葛金山歴史資料や民俗資料の展示保存並びに伝統芸能の伝習保存を通じ、地域住民の歴史文化の理解を深めるとともに都市生活者との交流を促進し、地域活性化を図るための施設である。

- (1) 名称 **自然資源等活用型交流促進施設（大葛金山ふるさと館）** (TEL57—2324)
- (2) 所在地 大館市比内町大葛字金山沢口5-2
- (3) 工期 平10.10.19～11.2.22
- (4) 開設 平11.3.5
- (5) 設計 昭建築設計室
- (6) 施工者 建物本体工事：平和建設(株)
機械設備工事：扇建設(株)
電気設備工事：(有)安藤電気工事所
- (7) 面積 建築面積 256.71㎡ 床面積 233.52㎡
- (8) 建物構造 木造平家建
- (9) 総事業費 70,000千円



建設費 (千円)		財源 (千円)	
建物本体工事費	44,257	国庫補助金	35,000
機械設備工事	10,321	地方債	34,000
電気設備工事費	5,869	一般財源	1,000
その他工事費	9,553		
計	70,000	計	70,000

- (10) 施設の概要 資料展示コーナー（金山史跡、金山墓地の写真等、金山太鼓、からめ節など伝統芸能の資料展示）、多目的ホール（金山太鼓、金山からめ節の伝統芸能の伝承活動）、更衣室、事務室、物品庫
- (11) 開館時間 午前9時～午後4時
多目的ホールは、午前9時～午後9時
- (12) 管理運営 委託事業者：大館市ベニヤマ自然パーク管理会
- (13) 使用料金上限 大葛金山ふるさと館 使用料金

区分	使用の単位	利用料金
多目的ホール	1時間につき	550円

備考

- 1 小学校に就学する前の者は、無料とする。
- 2 使用時間が1時間未満であるとき又は使用時間に1時間未満の端数があるときの当該端数は、1時間として計算するものとする。

- (14) 使用状況 (令和4年度) 45人

田一⑪、⑫、⑬

多目的研修集会施設

(1) 名称	大館市たしろ温泉ユップラ		大館市五色湖 ロ ッ ジ	大館市五色湖 緑地公園
	〔大館市温泉 保養施設〕	〔大館市交流 促進施設〕		
(2) 所在地	大館市岩瀬字上岩瀬塚の岱43-1		大館市岩瀬字大川目 元渡28-14	大館市岩瀬字大川目 元渡148
(3) 工期	平9. 2. 14~9. 12. 10	平10. 10. 21~11. 7. 30	平7. 11. 14~8. 3. 19	平5. 9. 3~7. 2. 28
(4) 開設	平10. 4. 1	平11. 8. 1	平8. 4. 1	平7. 4. 1
(5) 設計	㈱小畑勇設計事務所	㈱小畑勇設計事務所	佐藤士朗建設設計	佐藤士朗建設設計ほか
(6) 施工者	イトウ・山久建設 共同企業体	イトウ・山久建設 共同企業体	大成・古家建設 共同企業体	㈱田代建設ほか
(7) 面積	建築面積1,479.44㎡	建築面積：683.21㎡	建築面積：651.45㎡	敷地面積：25,000㎡
(8) 建物構造	R C造一部2階建	R C造2階建	木造2階建	木造一部R C 2階建 (休憩棟)
(9) 総事業費	721,364千円	324,675千円	62,766千円	290,222千円
建設費 (千円)	工事費 634,252 委託料 26,881 備品購入費 60,231	工事費 289,499 委託料 12,621 備品購入費 22,555	工事費 60,337 委託料 2,163 その他 266	工事費 274,650 委託料 14,255 その他 1,317
財源 (千円)	地方債 592,000 一般財源 129,364	国庫 139,072 地方債 162,500 一般財源 23,103	国庫 31,383 一般財源 31,383	国庫 143,869 一般財源 146,353
(10) 施設の概要	浴室・大広間・ レストラン等	研修室・宿泊室等	宿泊室・食堂・ドッグプ レイルーム等	休憩棟・炊事棟 ・トイレ等
(11) 管理運営	指定管理者：㈱タクト		大館市（田代総合支所地域振興係）	
(12) 使用料金	入浴料金 大人 360円 子供 160円	宿泊料 〔和室・洋室〕 大人 8,300円～ 子供 7,150円～ 〔ファミリールーム〕 大人 8,300円～ 子供 7,150円～ ※別途入湯税（150円）が加算されます。	宿泊料 1階宿泊室 一般（大学生以上） 3,300円 高校生以下 2,200円 児童又は生徒の研修 1,100円 2階宿泊室 一般（大学生以上） 2,750円 高校生以下 1,830円 児童又は生徒の研修 910円 休憩（ホール又は食堂それぞ れ一室につき） 550円 ペット同伴一匹につき 1,100円	キャンプサイト 530円
(13) 利用状況 (令和4年度)	87,243人	2,175人	307人	161人

比一②⑥

道の駅ひない「プルミエ比内」

勤労者福祉施設として平成3～4年度に雇用促進事業団との共有で建設し、平成15年度に72万4,500円で雇用・能力開発機構より購入した。「道の駅ひない」を構成する施設として観光情報の提供並びにレストランで特産の農産物を利用したメニューを提供し、地域の観光に寄与している。

- (1) 名称 **大館市プルミエ比内** (TEL55-1000)
 (2) 所在地 大館市比内町扇田字新大堤下93-11
 (3) 工期 平3.10.21～4.8.17
 (4) 開設 平4.8.17
 (5) 設計 能代山本地区設計事業協同組合
 (6) 施工者 建物本体工事：丸山建設(株)
 外構工事：(株)武田組
 給水工事：(有)明祝商事
 内装工事：阿部内装店
 機械警備配線工事：青森総合警備保障(株)
 電話取付配線工事：N T T大館支店
 (7) 面積 建築面積 851.74㎡ 床面積 833.24㎡
 (8) 建物構造 鉄筋コンクリート造平家建
 (9) 総事業費 215,184千円 (共有割合：42.781%)

建設費 (千円)		財 源 (千円)	
建物本体工事費	106,195	基 一 般 財 源	129,539
付帯工事費	22,660		85,645
設計監理費	5,629		
外壁工事費	32,476		
給水工事費	283		
内装工事費	1,948		
機械警備配線工事費	465		
電話取付配線工事費	541		
その他工事費	44,987		
計	215,184	計	215,184

- (10) 施設の概要 レストラン
 比内地鶏やとんぶり、きりたんぼ鍋など地元特産品を素材とした豊富なメニューが好評である。
 (11) 開館時間 午前9時～午後5時 時間を変更する場合がある。
 休館日 月曜日 (祝日の場合は、翌日)・年末年始
 (12) 指定管理者 (株)比内物産開発

(13) 利用料金上限

区 分	利用料金(1時間当たり)	
	右記以外	営利を目的とした利用
会 議 室	530円	1,060円
研修室 (和室1室)	530円	1,060円
研修室 (和室全室)	800円	1,580円

備考

- 1 使用時間が1時間に満たない場合は、1時間として算定する。
- 2 物品等の販売・展示会等での使用は、営利を目的とした使用とする。

(14) 利用状況 (令和4年度) 23,818人



比一②⑦

道の駅ひない
大館市比内軽食・直売コーナー 「とっと館」

「道の駅ひない（比内鶏の里）」の中核的施設として、地場産秋田杉の集成材ほか木材がふんだんに使われている。内部は軽食・直売・物産の3コーナーに分かれており、新鮮な農林水産物の直売や比内地鶏、とんぶりなどの地域特産物の提供ほか観光情報の提供などを行い、県内外の多くの利用者に親しまれるとともに地域の産業振興に資することを目的に建設。

- (1) 名称 **大館市比内軽食・直売コーナー** (TEL50-7700)
 (2) 所在地 大館市比内町扇田字新大堤下93-11
 (3) 工期 平13. 3. 19~13. 7. 31
 (4) 開設 平13. 8. 4
 (5) 設計 昭建築設計室
 (6) 施工者 建物本体工事：丸山建設(株)
看板設置工事：(株)佐野組
 (7) 面積 建築面積 321.79㎡ 床面積 241.17㎡
 (8) 建物構造 木造平家建
 (9) 総事業費 99,981千円

建設費 (千円)		財源 (千円)	
建物本体工事費	85,785	国庫補助金	44,972
看板設置工事	2,104	地方債	39,000
工事監督費	1,995	一般財源	16,009
工事雑費	60		
備品費	9,904		
手数料・負担金	133		
計	99,981	計	99,981

- (10) 施設の概要 軽食コーナー 31.17㎡ うどん・そば等軽食の提供
直売コーナー 64.43㎡ 新鮮な農林水産物の直売
物産コーナー 55.35㎡ 特産物ほか土産品の提供
 (11) 開館時間 午前9時~午後6時
定休日 年末年始、1月~3月の木曜日 (休日の場合は翌日)
 (12) 指定管理者 (株)比内物産開発
 (13) 使用料金 無料
 (14) 利用状況 (令和4年度) 73,647人

大ー ⑧

大館スカイパーキング

安全かつ円滑な道路交通を確保するため交通安全対策の観点から建設されたもので、現在は屋外平面部分を利用した定期駐車専用駐車場として利用されている。

- (1) 名 称 **大館スカイパーキング** (まちづくり課 TEL43-7145)
- (2) 所 在 地 大館市字馬喰町17
- (3) 工 期 平5. 6. 25～6. 3. 15
- (4) 開 場 平6. 4. 1
- (5) 設 計 (株)パスコ
- (6) 施 工 者 (株)イトウ
- (7) 面 積 敷地 983.52㎡ 建物 2,290.52㎡
- (8) 建物構造 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
- (9) 総事業費 780,000千円 (国庫補助金 195,000千円、市費 585,000千円)
- (10) 駐車台数 17台 (平面部分) ※長さ 5.5m以下、幅 2.3m以下
- (11) 利用時間 通年、終日使用可能
- (12) 駐車料金 定期駐車券 7,600円/月 (1カ月単位での販売)
- (13) 管理運営 大館市 (まちづくり課)
- (14) 利用状況 (令和4年度)・定期駐車券発行枚数 150枚

大ー ⑧

犬都記念公園 ドッグラン

平成17年10月に完成した犬都記念公園は、公園全体が駐車場を併設したドッグランとなっており、ドッグラン (A) とドッグラン (B) の2つのエリアが整備されている。

大館市は「忠犬ハチ公」のふるさととしても知られ、犬と密接なかかわりがあることから、犬都記念公園は大館市を象徴する施設となっている。

- (1) 名 称 **犬都記念公園ドッグラン** (都市計画課 TEL43-7082)
- (2) 所 在 地 大館市釈迦内字上大留
- (3) 面 積 4,976㎡
- (4) 施設の概要 ドッグラン ((A)1,617㎡、(B)239㎡)、駐車場31台、管理棟1棟、シェルター2基、パラソル付きベンチ2基、ドッグポール2基
- (5) 利用料金 シーズン券 2,000円、1か月券 500円
- (6) 利用期間 4月下旬～10月31日 (雨天時休園)
- (7) 利用時間 午前9時～午後5時
- (8) 利用状況 (令和4年度)
 - ①シーズン券 131件
 - ②1か月券 119件
 - ③利用人数 3,938人
 - ④利用頭数 3,625頭



- (1) 名 称 **大館市観光交流施設「秋田犬の里」** (TEL59-4649)
- (2) 所 在 地 大館市御成町一丁目13番1号
- (3) 工 期 平30. 3. 19～令2. 1. 31
- (4) 開 設 令元. 5. 8
- (5) 設 計 基本：(有)アトリエ建築設計室
実施：三浦・坂本設計共同体
詳細設計：(株)創研コンサルタント
- (6) 施 工 者 建築工事：白川・藤和特定建設工事共同企業体
電気設備工事：奥羽電気設備(株)
機械設備工事：(株)田中工業所
ペレットボイラー設置工事：古家燃料(株)
展示工事：(株)乃村工藝社
H30周辺整備工事：白川建設(株)
H30街灯設置工事：大館桂工業(株)
H31周辺整備工事：白川建設(株)
- (7) 面 積 敷地 16,741.19㎡ 延べ面積 1,246.17㎡ 建築面積 1,359.36㎡
- (8) 建物構造 鉄骨造 二階建て
- (9) 総事業費 1,068百万円
(国 267百万円、県 237百万円、地方債 430百万円、一般財源 134百万円)
- (10) 施設の概要 会議室 46.75㎡
イベントコーナー 94.50㎡
秋田犬展示室 95.20㎡
芝生広場 2,546.07㎡
多目的広場 5,762.24㎡
駐車場 5,924.27㎡
- (11) 管理運営 大館市 (観光課)
- (12) 利用状況 132,545人 (令和4年度)
- (13) 開館時間 午前9時～午後5時
- (14) 休館日 12月31日及び1月1日
- (15) 料 金 (1)秋田犬の里使用料

区分	使用の単位	使用料
会議室	1時間につき	11,000円
イベントコーナー	1時間につき	22,000円
秋田犬展示室	1時間につき	22,000円
犬一時預かり室ペット用ケージ	1ケージ1時間につき	550円

(2) 芝生広場及び多目的広場使用料

	使用の単位	使用料
1区画 (200㎡)	1日につき	148,500円
	1時間につき	16,500円

(3) 鉄道パーク使用料

区分	使用の単位	使用料
手こぎトロッコ	1人1回につき	100円

(4) 駐車場使用料

	使用の単位	使用料
1区画	1日につき	9,900円
	1時間につき	1,100円

